

Windowsで blogしよう!

海外の格安サイトにblogを設置する

河端 善博

KAWABATA, Yoshihiro

この記事では、ASP.NETで開発した“ウェブログ”をホスティングサービスに設置する際に必要となるポイントについてまとめます。Windowsをベースとしたホスティングサービスが各社から提供されていますが、アプリケーションの特性によってはうまく設置できない場合があります。そこで、サービス内容や設置方法も含めて解説してゆきます。

ウェブログによる情報発信

ウェブログとは、日々の活動やニュース、そしてそれらについてのウェブログ運営者の意見などを日記のように書いてゆくWebサイトです。書かれた内容には、自由にコメントをつけることができます。

従来の掲示板との違いは、ウェブログの運営者が主体となって構成されている点です。誰かの意見に対するコメントは、その人の発言にコメントとして投稿するか、自分のウェブログ上に投稿し、元の発言に対してリンクを設定します。

世界的には、2001年の9.11同時多発テロのときに急速に普及しました。日本では、昨年後半からインターネットプロバイダやポータルサイトを中心として、多数のサービスが開始されています。

Windowsの世界でも、Visual Studio .NETを開発ツールとして、.NETベースのウェブログシステムが昨年から公開されています。Microsoft MVPの方々をはじめ、コミュニティで活躍されるの方々などを中心に、興味深い情報が発信されています。ときには、それぞれのウェブログ上で協力して、開発をしている例も見かけます。IIS上で動作するウェブログシステムは、マイクロソフトが運営する開発者向けのコミュニティ「GotDotNet」の中の共同開発プロジェクト用スペース「Workspace」で提供されています。

現在、よく利用されている.NET Framework対応のウェブログとしては、次の3つがあります。

▶ BlogX (ブログエックス)

<http://www.gotdotnet.com/Community/Workspaces/workspace.aspx?id=ddc98753-6559-489b-a533-57034790a93a>

マイクロソフトの開発者Chris Anderson氏が開発したウェブログシステム (図1)。プログラムはコンパクト。ソースコードが公開されている。

▶ dasBlog

<http://www.dasblog.net/>

newtelligence AGが提供するウェブログシステム。BlogXを元に大幅に改良し、機能強化されている。ソースコードが公開されている。

▶ .TEXT (ドットテキスト)

<http://scottwater.com/blog/>

Scott Water氏が開発するウェブログシステム。現在、世界各国のWindows技術者に普及が進んでいるウェブログシステム。SQL ServerまたはMSDEが必要。ソースコードが公開されている。

筆者も昨年6月、このBlogXを利用してウェブログを始めました。ソースコードが提供されているので、日本語対応や添付ファイル対応などのカスタマイズをMicrosoft MVPの方々と共同で行なっています。

BlogX、dasBlogともに、データベースなしで始められるため、既存のWindows Server 2003、Windows 2000 Server上に簡単に設置することができます。

図1: BlogX (ブログエックス) のサイト

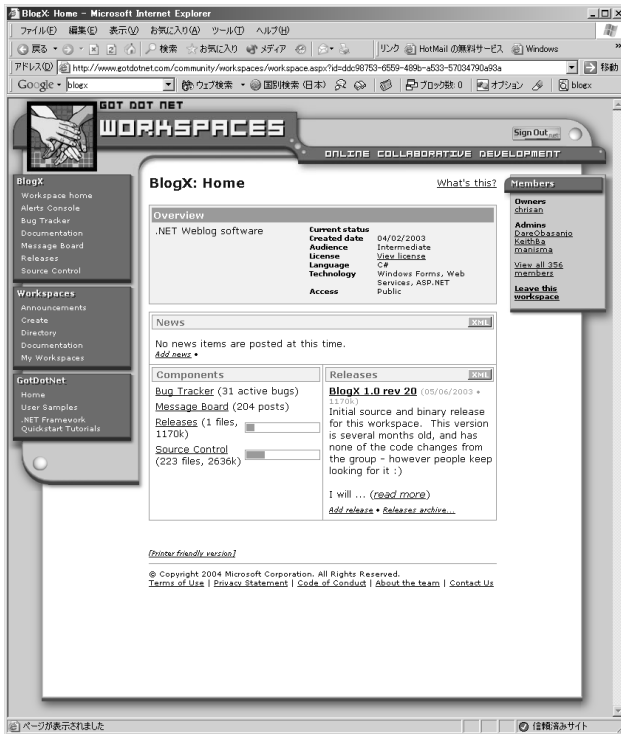
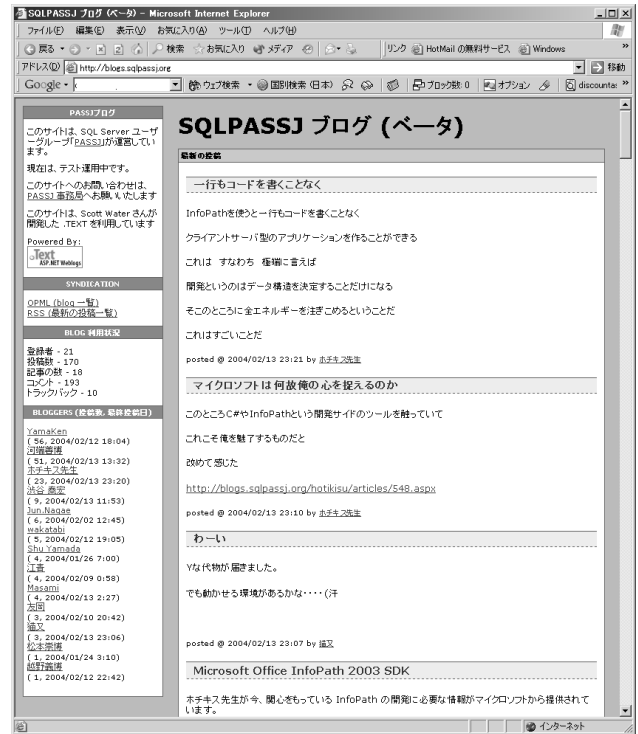


図2: SQLPASSJ ブログ (ベータ)



dasBlogは、ウェブログの最新の流行をうまく取り入れています。

.TEXTは、データをすべてSQL Server上に保管します。通常のウェブログ機能のほかに、まとまった記事を分類して蓄積する機能「Articles」と写真ライブラリを作成する機能「Gallery」もあります。さらに、ウェブログのポータルサイトを簡単に設置する機能があります。たとえば、筆者の参加するSQL Serverユーザーグループ「PASSJ」でも、.TEXTを利用して会員の方が参加できるウェブログポータル「http://blogs.sqlpassj.org/」を試験運用しています(図2)。

ウェブログを公開するには?

今回は、この中から、もっともシンプルな「BlogX」をインターネット上に公開する方法と問題点について検討してみましょう。

公開する方法としては、次の2つの方法があります。

- 方法1 自分のサーバーをインターネット上に公開する
- 方法2 レンタルサーバーを借りて公開する

自分のサーバーの場合

現在、ブロードバンド回線が安く導入できるようになっているので、自分のコンピュータをインターネット上に公開する場合も多いでしょう。この場合は、BlogXをダウンロードして必要最小限の設定をするだけで、ウェブログを公開することができます。

ただ、実際に運用するとすると、コストも時間も結構かかります。インターネット公開専用のサーバーを購入する必要がありますし、OSやセキュリティ対策ソフトのライセンス購入も必要となります。また、タイムリーにセキュリティ修正プログラムを適用する必要もあります。

故障などのトラブルが不意に発生した場合には、障害切り分けを行なうために、対策時にバックアップからのリストアを行なう必要もあるでしょう。

レンタルサーバーの場合

一方、レンタルサーバーは、比較的low価格で、上記のすべてを提供してくれます。インターネット公開用に必要なセキュリティ設定は事前にされていますし、バックアップやセキュリティ対策、基本的な故障への対応もレンタルサーバー運営会社が行なってくれます。